

あすなろだより 5 月

広島市立美鈴が丘高等学校あすなろ会

担当 2-1、2-4、3-5



○「ゆにひろカフェ」に参加しました！

ゆにひろカフェとは、広島県ユニセフ協会が主催でアクティビティを通して「違い」について認め合い、知ることを目的としたワークショップです。（出典：広島県ユニセフ協会）

ゆにひろカフェには自分たち高校生以外にも、小学生、中学生、20代、50代と幅広い年齢の方々が参加されていました。

いくつかアクティビティの中で、『目玉焼きにはしょうゆをかける？「Yes」か「No」か』、『我が家のみそ汁は赤みそである？「Yes」か「No」か』などといったアンケートに答える「私の文化シート」が特に印象に残りました。

自分が当たり前に行っている行動習慣が、同じ広島に住むからといって、必ずしも同じわけではなく、違っている理由も人それぞれ異なっていました。このことから、違いは国や宗教に限らず、同じ日本人同士、身近に住んでいる者でもあり、その違いを受け入れる大きな心を持たないといけないことに気づかされました。

【参加者の感想】

今回のワークショップでは、風土や宗教から生まれた風習など初めて知った文化も多く、とても勉強になりました。講師の方にお話しただいた『あってよい違い』と『あってはならない違い』について考えさせられました。多文化についてより理解をしていきたいと思います。



○ベルマーク

ベルマークはへき地の子にも継続的に学校の設備や教材を整えたり、特別支援学校や海外の子どもたち、大災害で被害を受けた学校や子供たちに支援したりするために使われています。ベルマーク運動は「無理なく無駄なく根気よく」、そして「忘れずに」をモットーに、参加団体・協賛会社、協力会社、ベルマーク財団がスクラムを組んで、子どもたちの笑顔のために活動を続けています。3階被服教室「あすなろ会の部屋」前の「ベルマーク回収袋」へ是非、ご協力よろしくお願いします。



○庚午 LIFE

「庚午未来会議」の方々が中心となって呼びかけ、4月24日（日）に庚午第一公園で『庚午 LIFE』が開催されました。この団体は「西区の魅力と活力向上推進事業」の一環、『元気アップをめざしたまちづくり』をテーマとし、庚午地区の様々な団体と連携して、地域の様々な課題に対応する組織の構築を図るために活動されています。

このイベントは、外に出られない子ども達などコロナによってなくなってしまった地域での交流を深めるために行われました。イベント内ではSDGs12の「つくる責任つかう責任」にある「ごみゼロを目指すためにリユースしよう！」の目標達成するために、家庭からコップなどの食器を持って行くと安く商品が購入できる等の取り組みが行われていました。

私達あすなる会では捨てるペットボトルを再利用し、小学生をターゲットにペットボトルボーリングを行いました。ルールを説明する時も、小さな子どもは視野が狭く低い位置からでなければ見ることが出来ないで、同じ目線になって確認することや、難しい言葉で言うのではなく、相手に合わせてゆっくり話すことも大切になってくることに気づきました。



あすなる主催のペットボトルボーリング子どもたちは何度も挑戦してました！

参加賞も準備しました。

また、アクセサリ作りと科学のショーにサポーターとして参加しました。アクセサリ作りでは、シュシュとくるみボタンをお客さんと一緒に作りました。小さなお子さんが来た時には出来そうなことをしてもらって、難しそうな作業は相手に合わせながら一緒に作成しました。

化学ショー 「誰の空気の輪が1番上まであがるかな？」



アクセサリ作り



この活動を通して、マスクの上からでもわかるたくさんの笑顔に触れることができました。私達も楽しく充実感に満ちた気持ちになることができ、人と人の交流が豊かな生活につながることを実感しました。

これからもさらに今回のボランティアを発展させ、子ども達が楽しめて地域全体が繋がれるようなボランティア活動を行ってきたいと思います。